



The Japanese Association
of Organic Geochemists

Newsletter

Organic Geochemistry 63

Mar 23, 2016

目次

新会長挨拶	鈴木徳行	2
Invitation		3
第 34 回有機地球化学シンポジウム (国際有機地球化学ワークショップ)		
ファーストサーキュラー	藪田ひかる	
Information		6
年会費納入のお願い		
Announcement		6
ROG32 巻へ論文を投稿しましょう！！		
編集後記		7

新会長挨拶

本学会の歴史は、1972年に日本地球化学会の夜間小集会で設立した「有機地球化学談話会」に始まります。その後、1985年に「有機地球化学研究会」、2002年に「日本有機地球化学会」と名称変更し、今日に至っています。この間、約45年の年月が流れ、有機地球化学を取り巻く社会環境は大きく変化してきました。大気二酸化炭素濃度や有機エアロゾルにまつわる諸問題、シェールガスなどの非在来型石油資源の台頭、海洋・極限環境での生物有機地球化学の新展開、そして、国際深海科学掘削計画（IODP）や大宇宙を舞台



にしたサンプルリターン計画など、有機地球化学の活躍の場は益々拡大しています。一方、有機物分析や質量分析に関する技術は革新的に進歩しており、超高感度・超高分解能分析技術によって、有機地球化学は新たな領域に入りつつあります。人類の知的な欲求を満たすだけでなく、人類の生存を支える学問として、有機地球化学はしっかりと根を生やしてきたのではないかと思います。

本学会の正会員の多くは、地球惑星試料や環境試料に含まれる有機物質に注目して、化学、地球・宇宙科学、生物科学を横断する研究教育や企業活動に携わっています。有機物質をコアにして、多様な会員と身近にディスカッションできるのも本学会の魅力の一つではないでしょうか。学生会員は、本学会の活動を間近に見ることで、将来の進むべき道について多くのヒントを得ることができるはずです。新装なった学会誌、**Researches in Organic Geochemistry (ROG)** は、オープンアクセスによって会員の研究成果を広く発信しています。現在、本学会として「地球・環境有機分子質量分析マニュアル」を作成しており、間もなく完成する予定です。これは、経験豊富で多様な会員が力を合わせることで初めて実現できることです。これからも、本学会ならではのユニークな活動を世界に発信し、学問の発展に貢献したいと思います。世界の時間的距離が大きく短縮し、情報伝達速度は飛躍的に高まりました。今後は、国際交流を積極的に進めて、本学会のグローバル化を進めてゆかなければなりません。

有機地球化学は、生命が関与した有機物から、非生物的な有機物まで、多様な炭素化合物に関する学問分野です。地球の大深部から、海洋、大気、そして大宇宙の彼方まで、あらゆる場所に炭素化合物が存在しています。このような炭素化合物に関心のある研究者、教育者、企業人、学生が集い交わる場として、日本有機地球化学会は発展を続けています。新たな会員を迎えて裾野を広げながら、有機地球化学の新時代を築きたいと望んでいますので、今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北海道大学大学院 理学研究院 鈴木徳行

(2016年1月)

Invitation

第34回有機地球化学シンポジウム（国際有機地球化学ワークショップ「Biomarkers and Molecular Isotopes」, 2016年大阪シンポジウム） ファーストサーキュラー



世話人: 藪田ひかる (大阪大学)、山中寿朗 (岡山大学)、池原実 (高知大学)、力石嘉人 (JAMSTEC)、朝比奈健太 (北海道大学)

会員の皆様

春陽のみぎり、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

第34回有機地球化学シンポジウムは、横浜ゴールドシュミット国際会議のポストコンファレンスと位置づけた国際有機地球化学ワークショップ「Biomarkers and Molecular Isotopes」として、7月4日（月）～5日（火）に大阪府箕面市にて開催することになりました。近代都市的なパシフィコ横浜から、昭和を思い起こさせる大阪娯楽要素満載の箕面観光ホテルへ、多くの皆様にお越しいただくことを心よりお待ち申し上げます。

詳細は、ワークショップホームページ (<http://ogeochem.jp/2016workshop/>) をご覧ください。日本有機地球化学会ホームページ (<http://www.ogeochem.jp/>) からアクセス可能です。

1. 日程

7/3（日）運営委員会

7/4（月）ワークショップ、総会および懇親会

7/5（火）ワークショップ

2. 会場

箕面観光ホテル

〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1

Tel : 0570-041266

<http://www.oedoonsen.jp/minoh/index.html>

<新幹線でお越しの方>

・JR 新大阪駅→（徒歩1分）→地下鉄新大阪駅→（御堂筋線）→千里中央駅→ホテルまでタクシー（計40分）

あるいは、

・JR 新大阪駅→JR 大阪駅→（徒歩5分）→阪急梅田駅→（阪急宝塚線）→阪急石橋駅→（阪急箕面線）→阪急箕面駅→ホテルまで徒歩3分。滝道沿いの展望エレベータを上り、連絡通路を渡るとホテル入口です。（計40分）

※梅田から箕面まで直通の阪急箕面線も本数は少ないですが走っています



<飛行機でお越しの方>

・大阪伊丹空港→ホテルまでタクシーで約 15・20 分
タクシー・バスは、滝道から入るホテル入口とは逆側の「箕面温泉スパガーデン」玄関に到着します。そこからホテルフロントにお向かいください。

<無料シャトルバス>

大阪梅田駅（JR）、千里中央駅（地下鉄御堂筋線）とホテル間をつなぐ無料シャトルバス（相乗り）も出ています。時刻表はセカンドサーキュラーにてお知らせいたします。

<団体専用バス>

7月5日の夕方には、JR 新大阪駅、大阪伊丹空港への帰りのマイクロバス（定員 25 名）を手配いたしますので、希望される方はご利用ください。

3. 共催

日本地球化学会、ゴールドシュミット国際会議

4. 開催までのスケジュール

4/14（木）早期参加申込み締め切り

4/28（木）アブストラクト申込み締め切り

5/12（木）最終参加申込み締め切り（※早期申込みより参加費が若干高くなります。ご注意ください）

5. 参加費、宿泊費

ワークショップのホームページでカード決済可能なシステムを準備中です（3月下旬から開設予定）。ワークショップ当日の現金でのお支払いも例年同様可能ですが、よりリーズナブルなオンライン早期参加申込みをお勧め致します。

	参加 申込費	宿泊費	7月3日(日)	7月4日(月)	7月5日(火)
会員(一般)	早期締切	7000円 和室(4人+)	11000円	8900円	8900円
	最終締切	8000円 洋室(2-3人)	13200円	11000円	11000円
		洋室(1人)	16500円	14300円	14300円
会員(学生)	早期締切	5000円 和室(4人+)	11000円	8900円	8900円
	最終締切	6000円 洋室(2-3人)	13200円	11000円	11000円
		洋室(1人)	16500円	14300円	14300円
非会員(一般)	早期締切	8000円 和室(4人+)	11000円	8900円	8900円
	最終締切	9000円 洋室(2-3人)	13200円	11000円	11000円
		洋室(1人)	16500円	14300円	14300円
非会員(学生)	早期締切	6000円 和室(4人+)	11000円	8900円	8900円
	最終締切	7000円 洋室(2-3人)	13200円	11000円	11000円
		洋室(1人)	16500円	14300円	14300円

※7月3日の宿泊費(税込)には、夕食バイキング、翌日朝食バイキング、入湯税が含まれています。

※7月4日・5日の宿泊費(税込)には、翌日朝食バイキング、入湯税が含まれています。

※「洋室(1名)」とは、ツイン/トリプル部屋を1名で利用する場合の料金です(シングル部屋はありません)。

原則として箕面観光ホテルでの宿泊をお願い致します(注:表中の宿泊費は一人あたりの料金)。なお、このホテルでは 4+人部屋の和室が主体で、洋室(ツインまたはトリプル)は部屋数が限られております。そのため、洋室の希望が多い場合は海外参加者を優先させていただきます。会員の皆様、とくに学生や若手の皆様にはできるだけ相部屋での宿泊をご検討くださいますと幸いです。同じ部屋の参加者同士でまとまって到着くださいますと鍵の受け渡し(チェックイン)が

よりスムーズになります。

どうしても会場以外のホテルを希望される方は、近辺（蛍池・千里中央・石橋駅）のビジネスホテルをご紹介可能ですのでご相談ください。

6. 発表形態

招待講演、一般講演、ポスター発表から構成されます。本ワークショップでの発表はすべて英語で行われますのでご了承ください。例年より招待講演が多いため、一般講演時間は例年より短くなる見込みです。ポスター発表者にはフラッシュトーク（90秒）を予定しています。なお、時間と会場スペースの関係上、発表形態の変更をお願いさせていただく場合もありますのでお含みおきください。

・口頭発表 口頭発表ではプロジェクターを使用します。できるだけ各自のPCでの発表をお願いします。プロジェクターケーブルの型式は「D-sub」です。HDMIには対応しませんので、変換アダプタを持参頂くか、会場で用意しますアダプタをご利用ください。会場のPCの利用を希望する方は事前にご相談ください。

・ポスター発表 A0サイズ（縦120cm×横83cm）を推奨いたします。例年のシンポジウムに続き、本年度も学生参加者には「最優秀ポスター賞」を設け、賞状・副賞等を進呈する予定です。

7. アブストラクト

口頭発表、ポスター発表ともに1件につきA4版1ページで作成して下さい。本ワークショップでのアブストラクトは英語でご作成ください。PDF形式の電子ファイルを電子メール添付で jaog2016@gmail.com へご送付ください。メールタイトルに【国際ワークショップ要旨】と明記ください。締め切りは4/28（木）です。

様式は、下記を目安として下さい。余白：上下30mm、左右20mm、行数36行、文字の大きさ：11ポイント、1-2行目はタイトルと発表者氏名（センタリング、登壇者の氏名に下線、連名はカンマ（,）で区切り、共著者の所属が異なる場合は各著者名に上付き数字を付けて対応させる。）。ワークショップホームページからもフォーマットをダウンロードできます。

8. その他

ワークショップ中の企画・会合や企業展示等を希望の方は、世話人までご連絡下さい。

国際有機地球化学ワークショップ「Biomarkers and Molecular Isotopes」参加申込（早期締切4/14、最終締切5/12）

(1) Your Name

(2) Your Affiliation (If you are a student, please mention it)

(3) Your address, E-mail address, Telephone No.

(4) Are you a member of JAOG or non-member?

(5) Your Check-in and Check-out dates (Nights to stay), Hotel room type [Single, Twin (for 2-3 people), Japanese style large room (for 4+ people)]

(6) Are you submitting an abstract for an oral presentation or a poster presentation?

(7) Presentation Title

(8) Authors and their affiliations (please indicate the first author with asterisk [*])

(9) Are you attending the workshop dinner party on July 4?

(10) If you have any other comments/requests, please write.

国際有機地球化学ワークショップ 2016 世話人
お問い合わせ : jaog2016@gmail.com
藪田ひかる (hyabuta@ess.sci.osaka-u.ac.jp)
山中寿朗
池原実
力石嘉人
朝比奈健太

Information

年会費納入のお願い

会員の皆様には日頃よりご支援いただき、誠にありがとうございます。本学会は、1月より新しい会計年度になっております。新年度の会費の納入をよろしくお願い致します。また、本年度までの年会費を納入いただけていない方は、併せて納入いただけますようお願い致します。

年会費： 正会員 2,000 円

学生会員 1,000 円

振込み先： 郵便振替口座 00110-7-76406

(名義人：日本有機地球化学会)

最終納入年度の分からない方、銀行口座よりの送金をご希望の方、所属機関より納入されるなど会員登録名以外でお振込みの方は、事務局財務担当の高野 (takano@jamstec.go.jp)

までお知らせください。

※学生会員の方へ

これまで学生会員の方で、卒業・修了された時は、事務局までお知らせください。本会の会計年度は1月より始まりますので、この3月末に卒業・修了される方は、学生会員の年会費で結構です。次年度より正会員の年会費の納入をお願いします。なお、卒業・修了後の連絡先を事務局まで忘れずに届けてください。

※異動・転居された方へ

職場や自宅が変わられた方は、会員管理と会誌郵送のために、新しい住所、電話番号、E-mail アドレス 等を事務局までご連絡下さい。

Announcement

ROG 32 巻へ論文を投稿しましょう！！

Researches in Organic Geochemistry

編集委員長 沢田 健

ROG (Researches in Organic Geochemistry) は本学会の学会誌であり、有機地球化学およびそれに関連する分野の研究論文を掲載し、冊子の発行および WEB 公開を行っております。ROG 31 巻(Vol. 31)が昨年 12 月 30 日に発行され、冊子がこの 3 月に本学会会員の皆様

の下に届いているかと思えます。また、学会 HP 上でも公開されています。ROG 32 巻(Vol. 32) への論文投稿もすでに受け付け体制にあります。ご遠慮せずに積極的に論文原稿の投稿をお願いします。ROG Vol.32, No. 1 は 2016

年7月頃、No.2以降は2016年11月以降に発行・WEB公開する予定で進めております。冊子はこれまでと同様に12月頃の発行を予定しております。皆様からの積極的な論文投稿をお待ちしています。

ROGの論文のカテゴリーはこれまで通り、1) 論文(article)、2) 短報(short article)、3) 技術論文(technical paper)、4) 総説(review)です。有機地球化学会シンポジウムで発表された内容や、博士論文・修士論文成果の発表なども歓迎いたします。詳細は、ROG Vol.31の巻末の投稿規定をご参照ください。また、上記の枠に入らない論文や企画でも、有機地球化学の発展に貢献し、学会員にとって有意義な論文

文・企画であれば、随時、編集委員会で検討を進めます。積極的に編集委員会にお問い合わせ下さい。その他、いろいろなご意見、ご要望、ご感想をお寄せください。ご投稿・ご連絡は下記までお願いいたします。

PDF添付ファイルによる電子投稿：
sawadak@mail.sci.hokudai.ac.jp
郵送：〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院・理学研究院
自然史科学部門・地球惑星システム科学分野
沢田 健 編集委員長宛
(TEL: 011-706-2733, FAX: 011-746-0394)

編集後記：

本会初の国際ワークショップ開催にともない、例年とは時期が異なりますが、ファーストサーキュラーを兼ねたニュースレター発行となりました。次号(セカンドサーキュラー含む)はワークショップ前に発行予定です(大)

今回も編集作業を担当させて頂きました。(高)

年度の切り替わりで皆様お忙しいことと思います。お体に気をつけて乗り切り、来る国際ワークショップを成功させましょう(金)

発行責任者 日本有機地球化学会会長 鈴木 德行
〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院 理学院 自然史科学専攻 地球惑星システム科学講座
Phone&Fax: 011-706-2730

日本有機地球化学会事務局
〒107-6332 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー
国際石油開発帝石株式会社 技術本部 評価技術ユニット内
事務局長 稲場 土誌典
Phone: 03-5572-0263, Fax: 03-5572-0269
e-mail: office@ogeochem.jp
ゆうちょ銀行口座 00110-7-76406 (名義人 日本有機地球化学会)

編集者 大場 康弘(北海道大学低温科学研究所) 金子雅紀(産業技術総合研究所) 高橋 聡(東京大学大学院理学研究科)
e-mail: news@ogeochem.jp

有機地球化学会ニュースレターはホームページでもご覧になれます。
アドレス：<http://www.ogeochem.jp/>